

# SILENT FALLOUT



奇跡を起こしたのは  
女性たちでした

世界29の国際映画祭が評価



英語版ナレーション  
アレック・ボールドウィン



日本語版ナレーション  
加藤 登紀子



伊東英朗監督作品  
(X年後シリーズ)

SILENT FALLOUT PROJECT

上映貸出料 無料



Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

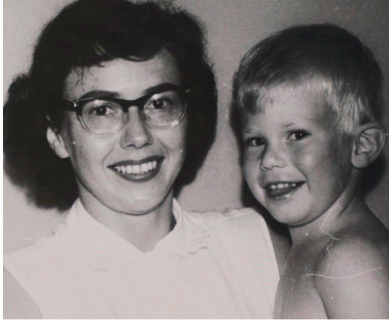
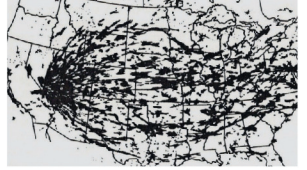
文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会

# 奇跡を起こしたのは 女性たちでした

ねえ、知ってる？

「アメリカ大陸が放射能に包まれていた」って嘘みたいな本当の話

1945年、アメリカは、国家予算を投じ、核兵器開発を開始。国内で行われた核爆発実験は、10年余りで101回。  
101個のきのこ雲はアメリカ大陸全域を放射能で汚染し、国民は、知らないうちに被曝しました。  
アメリカ政府は「平和のために」と言いながら、国民を犠牲にしていたのです。  
けれど、「女性たち」は気づいていました。核兵器が子どもたちを被曝させていることを・・・。



## 奇跡を起こした 女性たち

白衣を着た科学者たちは「過剰に心配するな。健康に影響はない。」と言いました。しかし、

女性たちがその言葉を信じることはありませんでした。女性たちは行動を起こします。子どもたちの「抜けた歯」を集めたのです。それはユニークな方法でした。乳歯からストロンチウム90が検出されれば被曝していることが証明されるのです。母親の一人ルイズ・ライスを中心に学校や病院に呼びかけた結果、32万本もの乳歯が集まりました。検査の結果、女性たちが心配していた通り、子どもたちは被曝していました。そのことを知ったケネディ大統領は、1963年、地上での核実験の中止を宣言。イギリス、ソ連も中止を決定。女性たちの行動が、世界を放射能汚染から救ったのです。



## 希望が 世界を旅する

この事実を一人の日本人が映画化。「戦争を抑止し、平和を保つため」という大義名分を振りかざし行われた核兵器開発によって、実は、知らないうちに自国民が犠牲になっている、という事実を核兵器保有国の人たちに知ってもらいたい、と2024年、40日をかけアメリカ上映ツアーを開催。全米20か所で上映と対話を行いました。映画は、世界29の国際映画祭で受賞、正式上映されるなど高く評価。上映は400か所を超えました。かつて女性たちが起こした奇跡の物語が、今、世界を旅しています。



2024 ニューヨークでの上映



## 未来を変えるのは あなたです

この映画は「招待状」でもあります。かつてアメリカ大陸を放射能から救った女性たちの思いのバトンを渡す役割をもっていきます。招待状を受け取るのは、あなたです。

かつて女性たちが奇跡を起こしました。それは大きな希望でもあります。奇跡は必ず起こすことができます。未来は変えられます！世界は変えられます！



### 上映貸出料は無料です

主催者の負担を減らし、観客に寄付という形で分担してもらおうという趣旨で上映貸出料を無料にしています。伊東監督のトーク(リモート・リアル)も無料です。

- \* 監督が現地参加する場合、旅費・宿泊費など実費はご負担下さい。
- \* 上映会に参加した方に、寄付のお声がけをお願いしています。寄付は任意です。
- \* 寄付の呼びかけができない場合は30,000円、学校での上映は10,000円で貸し出します。

### ご支援のお願い

映画はクラウドファンディング、ご寄付、文化庁の助成金で制作しました。プロジェクトは、現在1千万円を超える赤字です。活動を続けていくため、ご支援をお願いいたします。

【振込先】郵便振替 01640-4-43617 伊東英朗  
ゆうちょ銀行 店番：169 預金種目：当座 店名：一六九  
口座番号：0043617 伊東英朗



### 監督 伊東英朗 HIDEAKI ITO

1960年 生まれ 幼稚園教諭(16年間) から  
2000年 テレビの世界に転じる 映画「X年後」シリーズ2作品を劇場公開

第71回芸術選奨文部科学大臣賞・日本記者クラブ賞特別賞・ギャラクシー賞大賞・日本民間放送連盟賞的優秀賞  
地方の時代映像祭グランプリ・石橋山賞など受賞



公式HP



寄付



上映申込

[問合せ]  
[公式HP]

silentfalloutproject@gmail.com  
https://fallout22.com

silentfalloutpj

silentfallout\_project